

パパに聞きました！子どもとお出かけアンケート

5割以上がデパートなどの商業施設に対して不便さを実感

解決の一步として「子連れでも訪れやすい場所をまとめたマップ」を作成します

神奈川大学経営学部国際経営学科の授業の1つであるマネジメントプログラムは、企業や団体の課題を私たち学生目線で実践的に解決していくプログラムです。そこで西区地域子育て支援拠点スマイル・ポートと連携し、2023年7月29日～9月3日の期間、3歳までの子どもを子育て中の父親へと子どものお出かけに関するアンケート調査を実施し、計96名の回答を得ました。調査概要は以下の通りです。

〈調査結果の概要〉

1. 父親の8割は週に1回以上子どもを連れて外出をしている。その場合、主に1人か配偶者の方と外出をしている。
2. 外出先で感じる不便さは、「エレベーターが見つからない・利用しにくい」が最も多く、次いで「お店にベビーカーが入りにくい」「男性トイレにベビーキープがない」が挙げられる。
3. 不便と感じる場所は「デパートなどの商業施設」と回答した父親が5割以上。
4. 解決のために「子ども連れでも訪れやすい場所をまとめたマップ」が必要。

《調査概要》 「子どもとお出かけアンケート（父親）」

- ◆調査方法 : 西区地域子育て支援拠点スマイル・ポートでのアンケート
Google フォームを利用したアンケート
- ◆調査対象 : 3歳までの子どもを子育て中の父親
- ◆実施期間 : 2023年7月29日～9月3日
- ◆回答数 : 96人（スマイル・ポート利用経験者 87名 / 利用経験なし9名）

《調査者概要》

- ◇西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート（運営：NPO 法人シャーロックホームズ）

- ◇神奈川大学経営学部国際経営学科 2年
中嶋小梅 原愛恵 疋田琴美 王辰栄

調査のきっかけと目的

実習で感じた、「男性の育児参加」の難しさ。現実には、「女性前提」が多い。

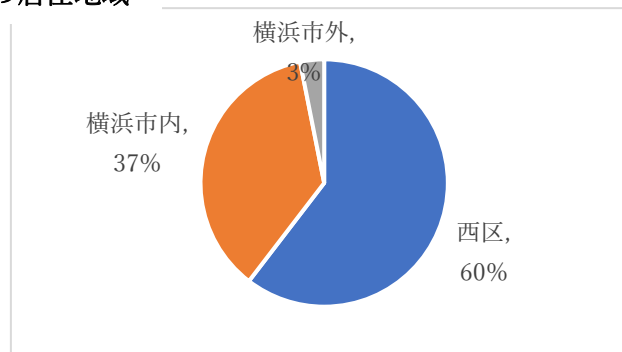
私たち、神奈川大学の4人は育児の現状を知るために西区地域子育て支援拠点スマイル・ポートの実習に参加して子育て中の母親や父親にインタビューを行いました。

インタビューの回答の1つに、「男性が育児に参加しようとする」と不都合に感じることや不便なことが多くある」という話を聞くことができました。そこで、実際に父親が感じる不便さの現状を調査し、不便さを改善する方法を検討することで、より多くの父親が育児への参加を楽しめるような環境をつくることを目的とします。

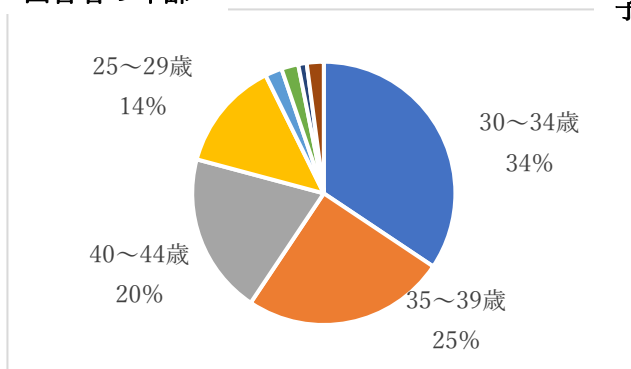
この調査では、「お出かけ」に焦点を当て、外出頻度や外出状況を把握し、その上で感じる不便さや父親が求めるサービスなどを調査しました。

【回答者プロフィール】

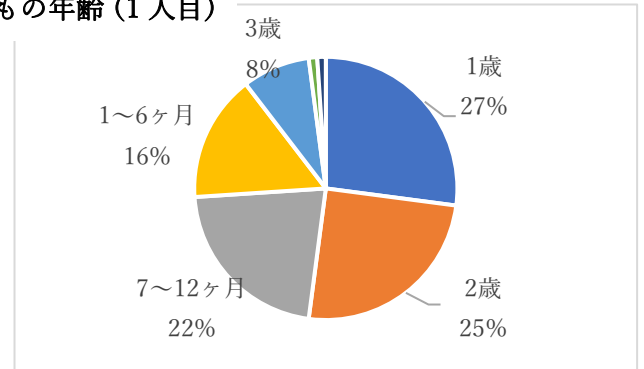
回答者の居住地



回答者の年齢



子どもの年齢 (1人目)

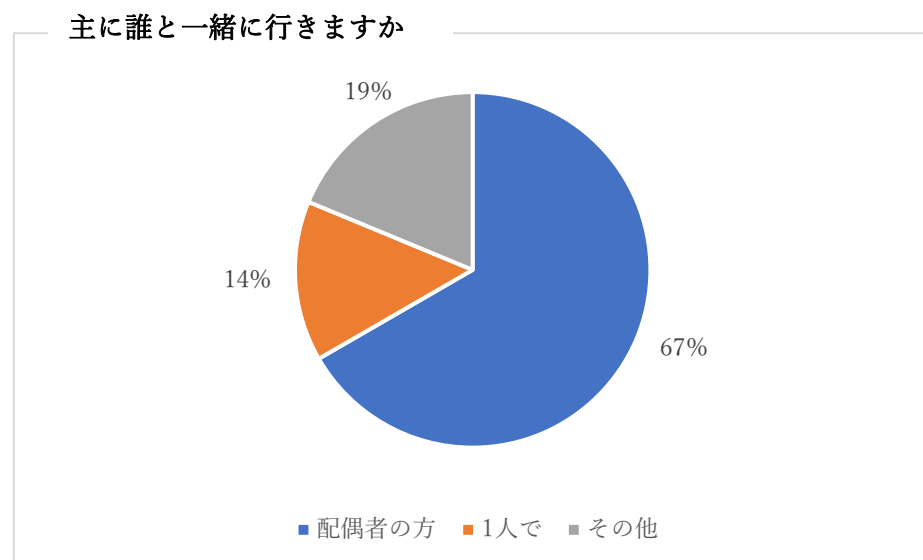
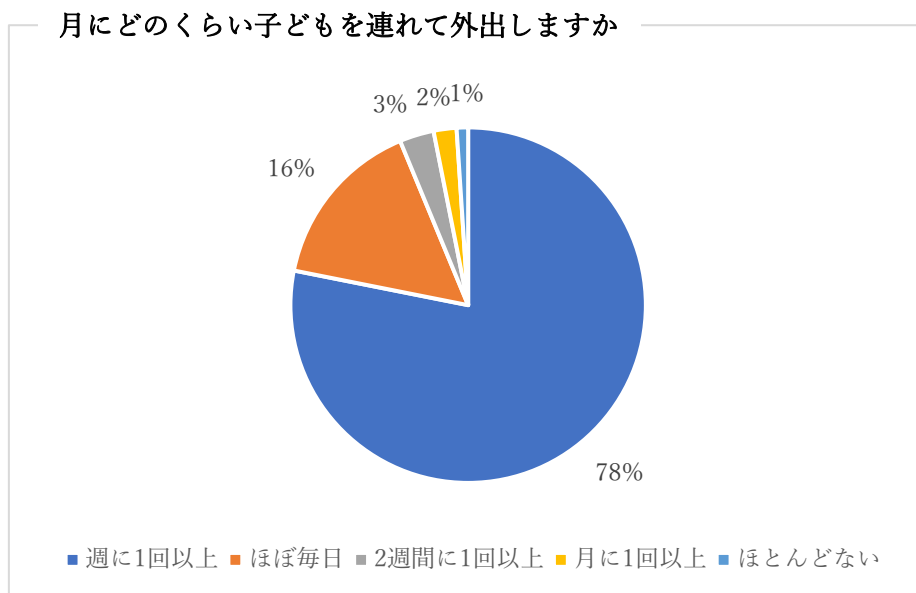


調査ポイント

1. 父親の8割が週に1回以上子どもを連れて外出。配偶者と一緒が半数以上にのぼり、父親一人での外出は少ない。

まずはじめに、外出をする際の現状について、「月にどのくらい子どもを連れて外出するか」を聞いたところ、8割近くの父親が週に1回以上と回答しました。

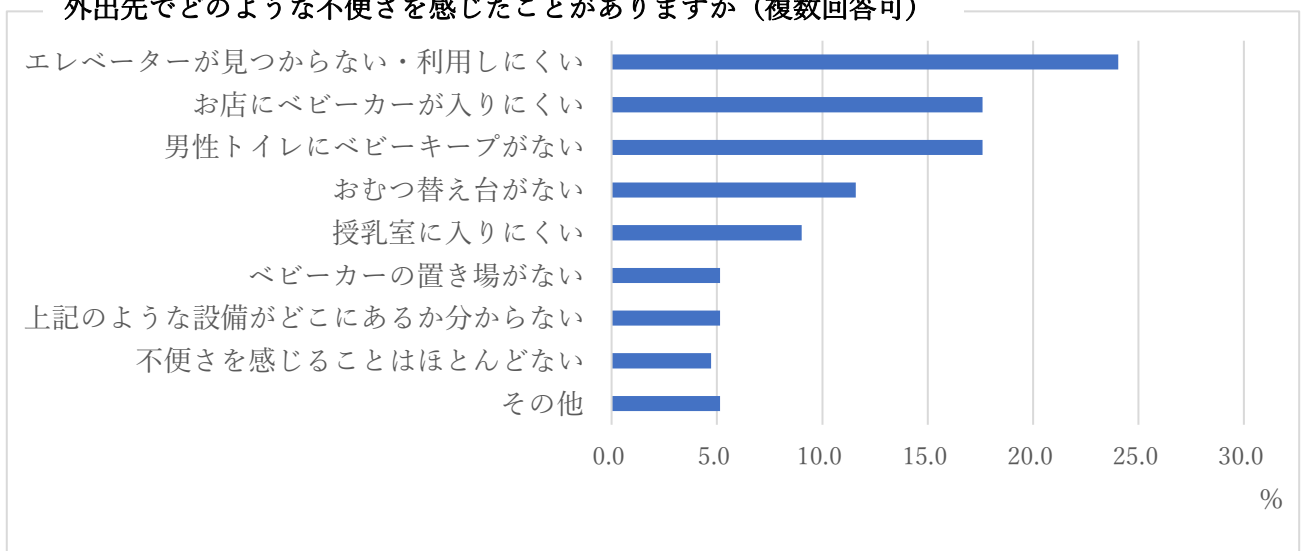
次に、「主に誰と行きますか」の問いに対して、6割以上の方が「配偶者と一緒」と回答。父親一人だけの外出頻度は低いということが分かりました。



2. 外出先で感じる不便さは、「エレベーターが見つからない・利用しにくい」が最も多く、次いで「お店にベビーカーが入りにくい」「男性トイレにベビーキープがない」が挙げられる。

「外出先でどのような不便さを感じたことがありますか。(複数回答可)」の問いに、「エレベーターが見つからない・利用しにくい」との回答件数が最も多く全体の24%、次いで「お店にベビーカーが入りにくい」「男性トイレにベビーキープがない」が同率で17%でした。

外出先でどのような不便さを感じたことがありますか (複数回答可)

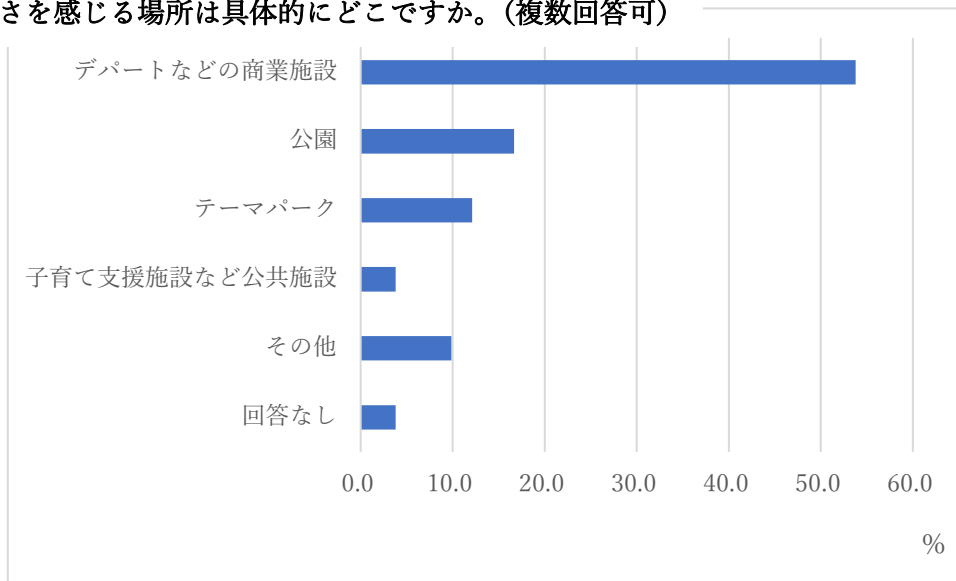


このようにベビーカーに関する不便さが全体の46%と半数近くを占めていることが分かりました。また、「男性トイレにベビーキープがない」「授乳室に入りにくい」など父親ならではの回答が見られました。特に「男性トイレにベビーキープがない」は全回答の中でも上位でした。その他の回答として、「子ども用のトイレがないこと」「レストランに入りにくいこと」など、父親の育児参加が促進されてきているが、実態としては設備の不十分さなどが父親の育児参加の障壁となってしまうことが分かりました。

3. 不便と感じる場所は「デパートなどの商業施設」と回答した父親が50%以上。

子どもと出かける際に、半数以上の方が「デパートなどの商業施設」に対して不便さを感じているため、行く場所が限られてしまうという実態があることが分かりました。これは前設問の回答から見られるように、大きな商業施設ではベビーカーでの移動には欠かせないエレベーターが利用しにくいとされています。エスカレーターの数が増えていてエレベーターが少ないことや、優先エレベーターに乗る必要のない人がそれらを使っているという声もありました。その他の意見として駅などの公共交通機関が挙げられていますが、駅などは古くからあり、最新の子育てニーズに応えることができていないということが理解できました。

不便さを感じる場所は具体的にどこですか。(複数回答可)



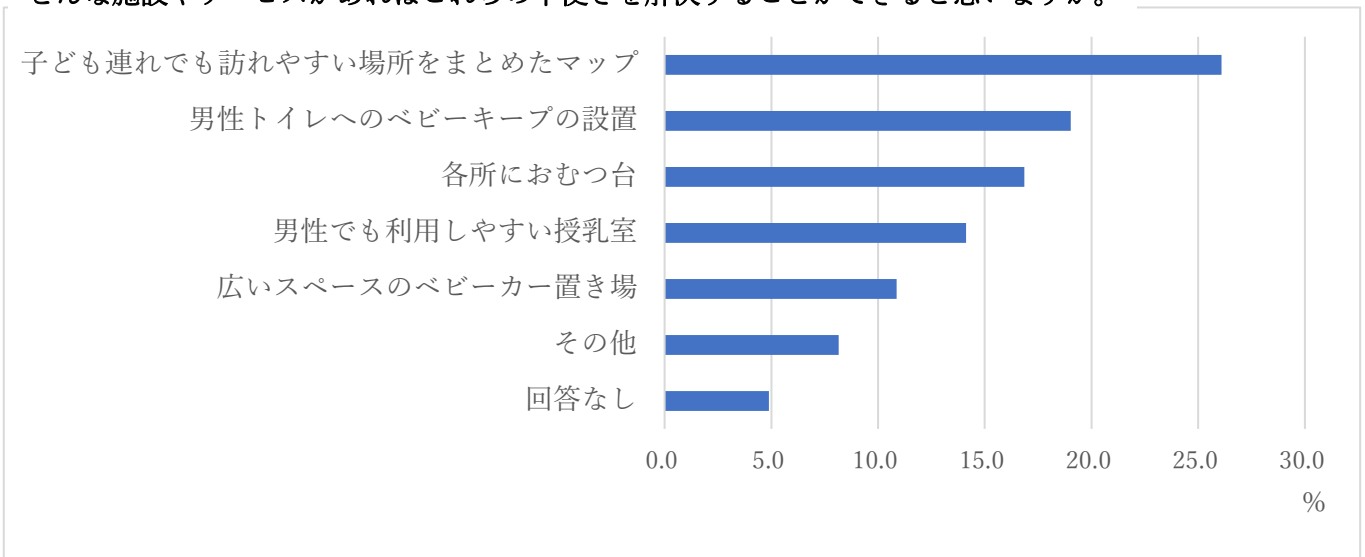
これらの意見を踏まえて、みなとみらい地区の商業施設(有料施設を除く)のおすすめスポットを聞いたところ多くの方が『MARK IS みなとみらい』と回答しました。その理由として、設備が分かりやすく綺麗なこと、授乳室やおむつ台、子どもと食事を楽しめるフードコートの設置があることが挙げられました。また、理想としてはディズニーリゾート内の充実さと分かりやすさ、確実さを求めるというような意見もありました。

4. 不便さ解決のために「子ども連れでも訪れやすい場所をまとめたマップ」を求める声が多数。

これらの不便さを、どのような設備やサービスで解決できるかを聞いたところ、「子ども連れでも訪れやすい場所をまとめたマップ」を求める声を多く頂きました。施設にある子ども用設備の場所や、ベビーカーでの移動ルートなどを事前に知ることができ、子ども連れの外出の不便さを解消する一つのツールとなりそうです。マップに載せることで、これまで知らなかった施設やサービスを知る機会にもなります。その結果、お子さんと一緒に外出する範囲が広がることやスムーズなお買い物が可能になるなど、子ども連れでも楽しくお出かけすることができるような環境に近づくことができると思います。

また、優先エレベーターの設置、電車などでの優先エリア等、既存の設備に加えて子育てに特化した設備の構築も求められると感じることができました。

どんな施設やサービスがあればこれらの不便さを解決することができますか。



父親の皆様からの声

その他、アンケートにご協力頂いた父親のみなさんから沢山の声を頂きました。

それらは、

- ①社会の制度や設備に関する現状と不満
- ②要望
- ③育児をしていく中での気付き
- ④配偶者への配慮
- ⑤その他

に分類することができました。

①社会の制度や設備に関する現状と不満（11件）

●現状

- ・依然として子育てはママがメインという前提での説明を役所や保育園、病院等で受ける。
(それが嫌とかではない)
- ・古い施設を除いて、最近のビルや商業施設はどこも使いやすくなっていると思う。ただ、優先エレベーターでも一般の方も利用するため工夫や気遣いが必要なケースが多い。
- ・自分の子供なので育児も行いたい、仕事を減らす(時短等)と収入や今後の役職への影響が心配。

●不満

- ・無料で遊べる子どものスペースが少なく感じる。
- ・世間的にはまだまだ子育てするのに必要な設備が少ないように感じる。
(子ども用トイレが少ない等)
- ・エレベーターの数が少ない。

②要望（15件）

- ・無料で行けて、3歳以下の子供を解き放っても安全・安心、かつできるだけ遊具が豊富な室内施設がみなとみらいにもっと欲しい。
- ・会社で子ども関連の休みが取りやすくなって欲しい。
- ・子育て支援施設等でも男性職員等がいると、入りやすくなる。
- ・ベビーカーレンタル、子ども連れでも行きやすいレストラン、割引や優待があると嬉しい。

③育児をしていく中での気づき（10件）

- ・夫婦同士の価値観があるので、コミュニケーションを取ることが大切であると感じる。
- ・現在夫婦共に育休中で、育休は育児のための時間というより、親になるために必要な時間だなと感じる。
- ・男性も育休を取ることで、今まで見えなかった景色や感情、学びがあった。
- ・仕事をしながら時間を確保することが難しく、母親が育児を主として行っているため、その生活習慣を覚えて休日に実行するのは難しい。育児でやるべきことや習慣を可視化し、夫婦間で共有できるツールがあると便利だと思う。

④配偶者への配慮（3件）

- ・父親もできる限り育児に参加するべきである。母親の負担が大きい。
- ・共働きが増えている中で、まだまだ女性の負担が多いのが現状だと思う。男性自身の積極的な参加はもちろん、働く女性への支援の拡充が不可欠だと思う。
- ・平日仕事をしているので、日中の育児の大半が任せっきりになってしまっている。

⑤その他（8件）

- ・子育ては楽しい！
- ・横浜市やみなとみらい地区は子ども連れに対して住みやすい都市の1つであると思う。
- ・育児は体力がいるし、日々大変。

調査のまとめ

このような調査結果から、私たちは西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート掲載用の子ども連れでも訪れやすい場所をまとめたマップを作成することを決定しました。作成のためみなとみらい地区を中心に、子ども用の商品を扱う商業施設や、商業施設を利用するための駅などの公共交通機関などの調査を行いました。実際におむつ台やベビーキープの設置の有無やインフォメーションセンターの方に利用頻度等のお話を伺い、それらの情報をまとめたマップを作成します。私たちの作成するマップだけではなく、商業施設や駅構内にもそのようなマップを掲載することで子ども連れの家族でも快適なお出かけ環境を整えることが可能になると思います。加えて既存の設備だけではなく子育てに特化した設備の構築等、設備の状況の改善も必要であることが分かりました。

以上のようなサービスの提供は、父親のみならず母親への負担軽減にも繋がります。そのような点から、迅速な対応が求められると感じました。

《調査詳細》

○基本情報

- ・居住地
- ・お子さんの月齢
- ・回答者の年齢

○調査項目

- ・子どもを連れて外出する頻度

(ほぼ毎日 / 週に1回以上 / 2週間に1回以上 / 月に1回以上 / ほとんどない)

- ・主に誰と外出するのか

(1人で / 配偶者の方 / 自身の両親 / パパ友 / その他)

- ・外出先でどのような不便さを感じたことがあるか ※複数回答可

(ベビーカー置き場がない / お店にベビーカーが入りにくい / エレベーターが見つからない・利用しにくい / 男性トイレにベビーキープがない / 授乳室に入りにくい / おむつ替え台がない / 上記のような設備がどこにあるか分からない / 不便さを感じることはほとんどない / その他)

- ・上記のような不便さを感じる場所は具体的にどこか ※複数回答可

(公園 / デパートなどの商業施設 / テーマパーク / 子育て支援施設など公共施設 / その他)

- ・どんな施設やサービスがあればこれらの不便さを解決できると思うか

(広いスペースのベビーカー置き場 / 男性トイレへのベビーキープの設置 / 男性でも利用しやすい授乳室 / 各所におむつ台 / 子ども連れでも訪れやすい場所をまとめたマップ / その他)

- ・みなとみらい地区で今まで子どもと一緒に出かけte良かった場所・おすすめの場所はあるか ※自由記述

- ・その他、何か父親として育児に感じる事、思うことはあるか ※自由記述

【本件に関するお問合せ先】

- ・NPO 法人シャーロックホームズ 担当：東 恵子

電話：045-324-5033 メール：azuma@sherlock.jp

- ・神奈川大学経営学部マネジメントプログラム 担当教員：浅海典子